

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2009-520384(P2009-520384A)

【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-534465(P2008-534465)

【国際特許分類】

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/02 (2006.01)

【F I】

H 0 3 M 7/30 Z

G 1 0 L 19/00 2 5 0

G 1 0 L 19/02 1 5 0

G 1 0 L 19/00 2 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データに対応するグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する段階と、

前記グループ基準値及び前記差分値を用いて、前記データを獲得する段階と、

を含み、

前記データは、第 1 グループピング及び前記第 1 グループピングに対する外部グループピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項 2】

前記第 1 グループピングによってグループピングされた前記データの個数に対応する第 1 データ個数は、前記外部グループピングによってグループピングされた前記データの個数に対応する第 2 データ個数よりも少ないことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 3】

前記第 1 データ個数と前記第 2 データ個数は、互いに倍数関係を持つことを特徴とする、請求項 2 に記載の信号処理方法。

【請求項 4】

前記グループ基準値は、パイロット基準値を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 5】

前記グループ基準値は、差分基準値を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 6】

前記グループ基準値及び前記差分値のうち少なくとも一つをデコーディングする段階をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 7】

前記グループ基準値は、パイロット基準値に対応し、前記パイロット基準値は、グループ別に定められることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 8】

前記第 1 グループピング及び前記外部グループピングは、時間ドメイン及び周波数ドメインのうち少なくとも一つのドメイン上の前記データに対して行われることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 9】

前記時間ドメインは、タイムスロットドメイン、パラメータセットドメイン及びデータセットドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理方法。

【請求項 10】

前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理方法。

【請求項 11】

前記獲得されたデータをパラメータとして用いてオーディオ信号を復元する段階をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 12】

前記外部グループピングは、ペアをなすパラメータを含むことを特徴とする、請求項 11 に記載の信号処理方法。

【請求項 13】

データに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する段階と、
前記生成された差分値を転送する段階と、
を含み、
前記データは、第 1 グループピング及び前記第 1 グループピングに対する外部グループピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項 14】

データに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する値生成部と、
前記生成された差分値を転送する出力部と、
を含み、
前記データは、第 1 グループピング及び前記第 1 グループピングに対する外部グループピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項 15】

データに対応するグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する値獲得部と、
前記グループ基準値及び前記差分値を用いて、前記データを獲得するデータ獲得部と、
を含み、
前記データは、第 1 グループピング及び前記第 1 グループピングに対する外部グループピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項 16】

前記第 1 グループピングによってグループピングされた前記データの個数に対応する第 1 データ個数は、前記外部グループピングによってグループピングされた前記データの個数に対応する第 2 データ個数よりも少ないことを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 17】

前記第 1 データ個数と前記第 2 データ個数は、互いに倍数関係を持つことを特徴とする、請求項 16 に記載の信号処理装置。

【請求項 18】

前記グループ基準値は、パイロット基準値を含むことを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 19】

前記グループ基準値は、差分基準値を含むことを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 20】

前記グループ基準値及び前記差分値のうち少なくとも一つをデコーディングするデータデコーディング部をさらに含むことを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 21】

前記グループ基準値は、パイロット基準値に対応し、前記パイロット基準値は、前記グループ別に定められることを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 22】

前記第 1 グルーピング及び前記外部グルーピングは、時間ドメイン及び周波数ドメインのうち少なくとも一つのドメイン上の前記データに対して行われることを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 23】

前記時間ドメインは、タイムスロットドメイン、パラメータセットドメイン及びデータセットドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項 22 に記載の信号処理装置。

【請求項 24】

前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項 22 に記載の信号処理装置。

【請求項 25】

前記獲得されたデータをパラメータとして用いてオーディオ信号を復元するマルチチャンネル生成部をさらに含むことを特徴とする、請求項 15 に記載の信号処理装置。

【請求項 26】

前記外部グルーピングは、ペアをなすパラメータを含むことを特徴とする、請求項 25 に記載の信号処理装置。